



いはら陽輔

活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

新設小学校の建設がスタート！！

1月16日(金)に下新倉地区に新設予定の市立小学校の起工式が行われました。図書館分館、児童館、保育クラブ等複合施設が併設され、地域に開かれた先進的な小学校になります。下新倉地区の発展と地域のつながりの強化が図られることが期待されます。開校予定は平成28年4月です。



新設小学校の完成予定図(*和光市HPより)

平成26年和光市議会12月定例会報告

12月4日～12月22日の期間で12月定例会が行われました。主な議案と審議結果は以下の通りです。なお、議案と審議結果の詳細は和光市議会のホームページをご覧ください。

(市議会のホームページから「議会情報」の「定例会・臨時会の日程と審議結果」に進んで下さい)

議案(抜粋)	議案の概要	審議結果
第四次和光市総合振興計画基本構想を改定することについて	子ども子育て支援新制度など福祉関係法令の大幅な改正による取り組みが平成27年4月からスタートするため一部先行で改定する。	原案可決
和光市総合福祉会館構成施設の管理を行わせる指定管理者の指定について(地域活動支援センター(精神障害者))	地域活動支援センターの指定管理者を医療法人壽鶴会東武中央病院に指定。障害者の日常生活を支援、就労機会の提供や必要な訓練の実施及び精神障害者の自立及び社会復帰の促進を図る事業を実施。	原案可決
和光市自転車駐車場条例の一部を改正する条例を定めることについて	経済状況及び駐輪場利用状況の変化などに対応するため、一時利用を140円とし、定期利用における市外料金設定、学生料金、長期割引、6ヵ月定期の導入を行う。	原案可決
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例を定めることについて	教育行政の責任の明確化のため、「教育委員長と教育長を一体化した新たな責任者(新教育長)を置く」改正に伴い、関係条例を改正する。経過措置として現教育長の任期中は改正前の条例が効力を有す。	原案可決
和光市新設小学校建設工事の請負契約の締結について	新設小学校建設工事の請負契約を北野建設(株)埼玉営業所と締結。契約金額は32億4,888万8千円。	原案可決
平成26年度補正予算	一般会計予算に4億9,757万円を増額。補正後は243億4,913万円。	原案可決

●和光市総合福祉会館構成施設の管理を行わせる指定管理者の指定について

指定管理者が変更になりますが現行のサービスの継承、そして現スタッフについても希望があれば継続雇用していく等、利用者や家族の不安に対応していく事、そして当医療法人に所属している医者、作業療法士等の有資格者による支援を実施していく事等、今後の発展が期待できる内容となっています。

●和光市自転車駐車場条例の一部を改正する条例を定めることについて

- ・一時利用の変更 100円(現行) → 140円
- ・定期利用の変更 2,000円/1ヵ月(現行)



	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
一般(市内在住・在勤)	2,000円	5,800円	11,200円
学生	1,800円	5,200円	10,200円
市外在住者	2,500円	7,300円	14,200円

いはら陽輔の一般質問の要旨

小規模保育と保育園の連携

問：平成27年4月から家庭保育室が小規模保育に移行し、認可園となる。対象は0～2歳までであるが、3歳になる年に連携先の保育園に転園することになる。初年度から問題なく連携できるのか伺う。

答：小規模保育と保育園の連携協定を市が全部間に入って調整していく。2歳で保育が満了した時にスムーズに連携先の園に行くための調整を行っていき。調整した段階で在園の方に説明し、小規模保育と保育園の連携を機能させていく。

英語教育における小中学校の連携

問：小学校5、6年生では正式科目でない英語活動が実施されている。英語は教職課程に含まれていないので現場では非常に混乱があったと思う。他市では小中学校連携として、中学校の英語教師が小学校で授業を実施している事例があるが、和光市における英語教育の小中学校連携について伺う。

答：和光市では外国語活動や英語授業の充実を図るために年間3回程度、小中学校における授業研究会を実施している。小中学校の教員やALTがそれぞれ異なる校種の授業を参観している。中学校の英語科教員が小学校に出向いて授業を行ったり、小学生が中学校の授業を見学するなどの交流も行っている。

仮想デスクトップの導入の提案

問：仮想デスクトップとはクライアントPCのデスクトップ環境をサーバ上で稼働させる仕組みである。サーバ性能の向上に伴い導入事例が増加しており、自治体においても豊島区が基幹系システムのリニューアルと並行して導入している。従来、基幹系と情報系のシステムは独立していたものを、PC1台で両方の環境を実装している。

PCの台数を減らすことができるだけでなく、結果としてオフィススペースの削減も可能となる。和光市においても導入を検討してほしい。

答：仮想化技術の一つの手法として、運用管理コストの削減や災害等による事業継続の確立、モバイル端末

などのマルチデバイスへの対応、場所を選ばない柔軟な執務環境が構築できる等、メリットがあると認識している。一方で、低価格が進んではきているものの、初期投資に係る費用は大きいと認識している。今後はご提案の仮想デスクトップのメリットを生かした仕組みづくりについて調査研究していきたい。

雨量及び河川水位のモニタリング

問：岡山県鏡野町でパッシブ防災センサという仕組みの実証実験が現在進行中である。光ファイバー網に雨量計と水位計を設置し、役場の監視装置にて測定監視を行っている。このシステムの優れているところは、センサ部分の電源が不要のため、故障のリスクが少なく、また高価な伝送機器が不要である。落雷を伴う豪雨が発生した場合でも安心な設計となっている。この取り組みに注目し、和光市においても導入の検討を行っていただきたい。

答：河川の水位だけでなく、いわゆる都市型の局所豪雨における内水氾濫の関連での施設内の水位の確認等にも利用できる可能性があるかと認識したので、今後注視して研究していきたい。

和光北インター地域土地区画整理事業

問：区画整理事業地施工区域内に大手物流企業が進出することが決まった。大規模施設となるため和光市の発展に寄与してくれるものと期待している。具体的には税収の増加や和光市民の雇用を期待しているが、それぞれについて見通しを伺う。

答：法人市民税の税収については事業規模、従業員数などが不明のため現時点での積算が困難である。土地に対する固定資産税、都市計画税は区画整理前では区域全体で約880万円だったものが、完成後の概算では8,700万円程度と見込んでいる。

雇用面では和光市民に限定するものではないが、操業開始時は700人程度、最終的には1,000人程度の就業者数が見込まれている。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。

3月定例会の開催予定

2月22日(日) 開会、施政方針に対する質疑

2月23日(月) 提案説明

2月27日(金) 議案に対する質疑

3月 2日(月) 常任委員会

3月 3日(火) 常任委員会

3月 4日(水) 常任委員会

3月 5日(木) 常任委員会

3月 6日(金) 市政に対する一般質問

3月 9日(月) 市政に対する一般質問

3月10日(火) 市政に対する一般質問

3月11日(水) 市政に対する一般質問

3月16日(月) 委員長報告、質疑

3月17日(火) 議案に対する討論、採決、閉会

※日曜日が開会日！ぜひ、傍聴にお越しください！

公式ウェブサイトをご覧ください

<http://iharayosuke.com/>



いはら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▶ 048-201-0791

E-mail ▶ ihara.yosuke@gmail.com

Twitter ▶ @iharayosuke